

ちゅうりっぷだより



令和4年7月20日
川口市立舟戸幼稚園
年少ちゅうりっぷ組

早いもので、1学期も最後の日を迎えました。友達同士で「おはよう」と元気に挨拶を交わしたり、自分から身支度に取り組んだり、頼もしい姿が見られるようになりました。

また、水遊びやプール遊びを思い切り楽しんだり、砂遊びやごっこ遊びをしたりして、そばにいる友達や気の合う友達と楽しそうに遊ぶようになってきました。ご家庭で4月からのお子さんの成長を十分に認めていただいたことが、子供たちの大きな喜びにつながったのではないかと思います。1学期間、保護者の皆様には温かいご理解とご協力をいただきありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いたします。

気持ちがいいね



晴れた日には、プールに入り、水の心地よさや開放感を味わっています。

子供たちも「今日は、プールに入れるかな？」と、毎日楽しみに登園しているようです。着替えも初めは「先生やって」と言っていたのですが、今では自分で脱いだり着たり、畳んだり、自分から進んでできるようになってきました。プールに足をを入れる時は、毎回「キャー」「気持ちいいね」という歓声があがり、様々な遊具を使って「はい、どうぞ。おいしいジュースですよ」と友達や教師にあげたり、ジョウロを使って背中に水をかけ合ったりして、自分なりの方法で水に親しんでいます。水の心地よさを感じながら、楽しくプール遊びが行えるよう援助しています。

また、砂場での水遊びや絵の具を使った水遊びなど様々な方法で水に親しみながら、水の心地よさや砂の感触を十分に味わって、友達と同じ場で遊ぶことを喜んでいきます。絵の具を使った水遊びでは、ピンクの色水では「これは、いちごジュースです」、黄色の色水では「これは、バナナジュースです」とカップに入れて友達にあげたり、「いらっしゃいませ」とジュース屋さんごっこをしたりして楽しみました。さらにいろいろなジュースを混ぜてミックスジュースをつくと、「これ、オレンジジュースになったよ」「こっちは、ブルーベリージュースだ」と色の変化に驚き、友達に見せていました。子供たちが不思議さや面白さを感じ、こうしてみたいと願いをもって、更に遊びが広がっていきけるよう、子供たちの思いを受け止め、言葉にして伝え、友達と一緒に遊ぶ楽しさを十分に感じられるようにしていきたいと思えます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『思考力の芽生え』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。



喜んでくれるかな？

ちゅうりっぷ組のお友達は、つくることが大好きです。クレヨンでのお絵描き、はさみを使ってピザの具材を切ったり、のりでつけたり、また、絵の具を使ったあじさいづくり、折り紙やシールを使った七夕飾りづくりと様々な造形活動をしました。中でも、子供たちは、絵の具を使って模様を描くのがお得意です。そこで、子供たちの大好きな絵の具を使ってお家の方へプレゼントを作ることになりました。毎日お仕事を頑張ったり、お家のことをしてくれたりする家族の方への感謝の気持ちについて話をすると、子供たちから家族が大好きという気持ちが伝わってきました。「『いつもありがとう』の気持ちでプレゼントをつくらうね」ということを話すと、プレゼントをつくらっている中で「お母さんは、ピンクが好きだから、ピンクでポンポンするね」「この模様、喜んでくれるよね」など様々な声が聞こえました。子供たちなりに日頃の感謝の気持ちを表現しています。ぜひ、プレゼントに込められた思いをお子さんに聞いてみてください。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『社会生活との関わり』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。